



22号 令和4年8月5日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



「忘れないこと」が平和を守り続けること

広島に原爆が投下されてから明日で77年目を迎えますが、本校では、登校日の本日、犠牲者のご冥福をお祈りし、恒久平和に誓いを新たにするために、当時を振り返る時間を取り、1分間の黙祷を行いました。

私から阿賀っ子に伝えたことは・・・。

昨年度の広島平和記念式典で、子どもたちを代表して2名の小学生が述べた「平和の誓い」を改めて映像で振り返ってみたいと思います・・・。(令和3年度の映像を各教室に配信。)

この中で、阿賀っ子のみなさんの心にいちばん留めて欲しかった言葉は・・・。

「本当の別れは会えなくなるのではなく、忘れてしまうこと。」

原爆の犠牲になられた数え切れない方々とのつながりが絶たれてしまったことは本当に耐えがたいこと。しかし、それ以上に、今を生きる私たちや未来を生きる人たちが、犠牲になられた方々のことを忘れてしまうこと。それは決してあってはならないこと。もし、そうなるようなことでもあれば、再び悲惨な過去が繰り返される。平和の実現は、地球に生きる一人一人の心構えと行動にかかっている。そう誓いの中で訴えていたと思います。犠牲になられた方々のことを決して忘れない。そのことから生まれるどんなことが平和であることだと言えるのか、以前に阿賀っ子のみなさんに紹介した絵本をもとに、もう1度確認しましょう。(『浜田桂子 作「へいわって どんなこと？」童心社』の読み聞かせを各教室に配信。)

2週間ぶりですが、元気な阿賀っ子の様子が見られました(登校日の様子)。



この2週間の休みに6年生代表児童が仕上げた安全ポスターです。本年度もいい仕上がります。

<寺田エリ子教諭(2-3担任)の病休に伴う対応>8/22から藤井博子教諭が代員として着任し、寺田教諭が9月中に復帰するまで学級担任として勤務します。

<高橋尚也教諭(6-2担任)の育休に伴う対応>9/2から梶原圭心教諭が代員として着任し、10月末まで教科指導等に当たります。